学校番号	218

平成 31 年度　数学科

教科	数学	科目	(学)計算演習	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主制作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では就職試験や上級学校の入学試験で扱われる計算や図形の計量についての基礎的知識を身につけることを目標としています。
・授業では、初めにポイントの解説を行ってから、問題演習を行います。
・学習内容をしっかり身につけるために、プリントの問題量は多めに設定しています。授業中にとき終えられなかった課題は家庭学習における課題とします。
・授業プリントには、入学試験等の過去の問題や、発展的な内容を盛り込んだ「補充問題」を準備しています。基礎的な力が身についたら発展的な内容にも積極的に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

数や多項式の四則演算、１次方程式、２次方程式、１次不等式、連立方程式についての復習を通して、内容への理解を深めるとともに、計算の正確さを高めることを目標とします。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	整数や多項式の四則演算、展開、因数分解、方程式や不等式の解法について解説をもとに問題演習に取り組もうとする。	係数に分数、小数、文字を含む多項式を扱う問題について、基本的な内容を元に発展的に推論し、正しい解答を導きだすことができる。	整数や多項式の四則演算、展開、因数分解、方程式や不等式の解法についての技能を身につけている。	整数や多項式の四則演算、展開、因数分解、方程式や不等式の解法についての基本的な概念や原理・法則について正しく理解し、知識を身につけている。
評価方法	授業プリント 定期テスト 観察等	授業プリントの補充問題 観察等	授業プリント 定期テスト 観察等	授業プリント 定期テスト 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	数の四則演算	自然数の四則演算	○		○	○	a: 解説をもとに問題演習に取り組もうとする。 c: 四則演算の解法についての技能を身につけている。 d: 四則演算の基本的な概念や原理・法則について正しく理解し、知識を身につけている。	授業プリント 補充問題 定期テスト 観察等
		小数、分数の四則演算	○		○	○		
		正負の数の四則演算	○		○	○		
	割合	歩合・百分率・分数・小数の変換や計算	○	○	○		a: 解説をもとに問題演習に取り組もうとする。 b:循環小数に関する問題について、発展的に推論し、正しい解答を導きだすことができる。 c: 四則演算の解法についての技能を身につけている。	授業プリント 補充問題 定期テスト 観察等
2学期	平方根	平方根	○	○	○		a: 解説をもとに問題演習に取り組もうとする。 b: 小数や分数を扱う問題について、整数であるときの解法を元に発展的に推論し、正しい解答を導きだすことができる。 c:解法についての技能を身につけている。 d:解法についての基本的な概念や原理・法則について正しく理解し、知識を身につけている。	授業プリント 補充問題 定期テスト 観察等
	1次方程式	1次方程式	○	○	○	○		
	文章題	速さ・濃度の文章問題	○		○	○		
3学期	文字式の計算	展開	○	○	○		a: 展開や因数分解について解説をもとに問題演習に取り組もうとする。 b: 係数に分数、小数、文字を含む多項式を扱う式について、基本的な内容を元に発展的に推論し、正しい解答を導きだすことができる。 c: 展開や因数分解についての公式を覚えて、正しく解答することができる。 d: 展開や因数分解についての基本的な概念や原理・法則について正しく理解し、知識を身につけている。	授業プリント 補充問題 定期テスト 観察等
		因数分解	○		○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:数学的な見方や考え方
c:数学的な技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（教材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。